プルーフロンＮＣ－１０工法

日本特殊塗料株式会社

（軽歩行用露出カラー仕上　２m/m厚）

工　程	材料の調合	施工方法	可使時間	使用量	施工間隔
素地調整	・レイタンスは、サンディング、シンナー等できれいにする。 ・油、ゴミ、ホコリ等は、完全に除去する。 ・素地の吸い込みが激しい場合は、プライマーを充分浸透させ、目止めになるように塗布する。				
プライマー	プルーフロンプライマー　16kg (原液で使用する)	刷毛 ローラー	—	0.2 kg/m^2	4～48 時間
防水材 （１回目）	プルーフロンＣ－100ＤＸ 主剤　6kg 硬化剤　12kg　重量比	金ゴテ ゴムベラ	40分 (20℃)	1.3 kg/m^2	16～72 時間
防水材 （２回目）	プルーフロンＣ－100ＤＸ 主剤　6kg 硬化剤　12kg　重量比	金ゴテ ゴムベラ	40分 (20℃)	1.3 kg/m^2	16～72 時間
トップコート	プルーフロンＧＲトップ Ａ液　15kg Ｂ液　3kg　重量比 GRﾄｯﾌﾟｼﾝﾅｰ　1.8～3.6kg	スプレー ローラー 刷毛	4時間 (20℃)	0.2 kg/m^2	乾燥 12時間 以上

注意事項

・プルーフロンＣ－100ＤＸは、２液型ですので、マーゼル等で充分攪拌して下さい。
　不充分の場合は、硬化不良となります。
　尚、可使時間は40分ですので、素早い作業となります。
・火気には充分気を付けて下さい。
・トップコートは防滑タイプの艶消しチップ入り及び遮熱タイプも選択できます。